

## 令和4年度 第1回幕別町文化財審議委員会報告書

1 日 時 令和5年3月17日（金）11：00～11：50

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席者

(1) 文化財審議委員

橋本委員、鎌田委員、福島委員（加藤委員、角谷委員欠席）

(2) 教育委員会

菅野教育長、川瀬教育部長、石田生涯学習課長、添田教育部主幹、  
勝又係長、有田主査、坂口学芸員

4 会議次第

(1) 委嘱状交付

(2) あいさつ

⇒教育長からあいさつ

(3) 委員紹介

⇒議席順に自己紹介

(4) 職員紹介

⇒教育長以下出席職員の自己紹介

(5) 所管事項説明

⇒社会教育係長：設置及び目的について、幕別町文化財保護条例及び幕別町文化財審議委員会規則により、文化財審議委員会の所管事項を説明

(6) 役員選出

・委員長（橋本猛夫氏）

⇒鎌田委員：橋本委員を推薦 ⇒委員全員承認

・副委員長（加藤修治氏）

⇒橋本委員長：加藤委員を指名 ⇒委員全員承認。

(7) 委員長あいさつ

⇒橋本委員長からあいさつ ※以下、橋本委員長が進行

(8) 議事

報告第1号 生涯学習課所管事業の報告について

- ①アイヌ政策推進交付金事業の進捗状況と今後の展開について（添田主幹遅参のため、先に報告）  
⇒石田生涯課長より、「幕別町アイヌ施策推進地域計画」及び「幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業計画（案）」の概要を説明。坂口学芸員より令和4年度に実施した「文化振興事業（アイヌ文化伝承活動支援事業）（アイヌ文化普及啓発事業）」及び「地域・産業振興事業（アイヌ文化情報発信事業）」について報告した。

【質疑】

福島委員：施設が完成した場合の入館料や施設使用料は検討されているのか。

⇒展示館棟には常設展示もあることから、ナウマン象記念館やふるさと館の料金を参考にしながら検討することになる。また生活館棟の使用については、アイヌの方々の使用料は無料だが、その他の方が使用する場合は、町内のほかの施設と同様に維持管理経費等から使用料を算出し、応分の負担をしていただくことになる。

福島委員：施設の主な利用者の想定は、どのような方々か。

⇒展示館棟では蝦夷文化考古館に収蔵されている吉田菊太郎氏の資料を後世に残すことと一般の方々に見ていただくことが目的。また、生活館棟では、アイヌの方々の技術の伝承であったり、その技術や文化を一般の方々に見てもらい理解、交流してもらったり、地域の集会等での利用も想定している。

②令和4年度ナウマンゾウ足跡化石発掘調査について

⇒添田主幹より、令和4年度に寄贈を受けた偶蹄目の足跡化石の解説と、今後の活用について報告があった。また、令和4年度のナウマンゾウ足跡化石の発掘調査の報告があった。

(※昨年度の会議の中で、寄贈を受けた資料は、教育委員会で審査を行い受領決定したものであることを審議会内で報告するとともに、今後の審議（文化財登録も含め）に役立つものと考えられることから、寄贈を受けた資料を審議会に報告することについて、了解を得ている。)

③事務局より

⇒次年度の審議会の開催については、年度末ではなく発掘調査等の現地での解説等の実施を含めて、開催時期を検討する。